

2008年度夏学期開講

教育心理学特殊講義

加齢にともなう心身機能・ 生活の変化と適応

各回のテーマおよび成績評価について

2008年 4月 17日

総括プロジェクト機構ジェロントロジー寄付研究部門
運営委員 甲斐一郎（医学部）

各回の担当教員およびテーマ

- (1) 4/17 小宮山宏（東京大学総長）
知の構造化とジェロントロジー
- (2) 4/24 大内尉義（医学部 加齢医学講座）
老化の理論
- (3) 5/1 遠藤利彦（教育学部）
生涯発達理論
- (4) 5/8 遠藤利彦（教育学部）
エイジングの研究方法
- (5) 5/15 武藤芳照（教育学部）
身体機能の変化と適応
- (6) 5/22 秋下雅弘（医学部 加齢医学講座）
疾病・障害とヘルスプロモーション

各回の担当教員およびテーマ

- (7) 5/29 伊福部達（先端科学技術研究センター）
身体機能を補う福祉工学機器
- (8) 6/5 高山緑（慶応義塾大学 ゲストスピーカー）
知的機能の変化と適応
- (9) 6/12 小林江里香（東京都老人総合研究所 ゲスト）
社会関係の変化と適応
- (10) 6/19 白波瀬佐和子（文学部）
前期高齢期（Third Age）の課題
- (11) 6/26 川村匡由（武蔵野大学 ゲスト）
団塊世代のエイジング
- (12) 7/3 村嶋幸代（医学部 地域看護学講座）
後期高齢期（Fourth Age）の課題
- (13) 7/10 清水哲郎（文学部 上廣死生学講座）
死をめぐる諸問題

授業の評価方法

(1) 出席状況 50%

(2) レポート 50%

テーマ： 後日提示

高齢者へのインタビューを伴う課題を予定

分量： A4判4枚以内, ホームページ上にフォーマットを掲載予定

<http://www.gerontology.jp/edu/>

提出期限： 7月31日（木）

提出先： メールにてedu@gero.dpc.u-tokyo.ac.jpへ

問い合わせ先

この授業や教育プログラムについて質問がある人や、ジェロントロジーに興味がある人は...

総括プロジェクト機構
ジェロントロジー寄付研究部門
(教育プログラム担当：吉江)

電話： 03-5841-1663

メール： edu@gero.dpc.u-tokyo.ac.jp

URL： <http://www.gerontology.jp/edu/>